

アルインコ株式会社
2027年3月期第2四半期
決算補足説明資料

2026年 10月 20日

証券コード：5933

<https://www.alinco.co.jp/>



2027年3月期第2四半期 連結業績

- ✓コア事業における仮設機材の「販売」と「レンタル」の連携をさらに進めるとともに、3月21日新設の「営業本部」にて各事業部間の連携を拡大し、新たな事業機会の創出を図る取り組みを強化したことなどにより、売上高が堅調に推移し、前年同期比4.0%増の330億24百万円となった。
- ✓営業利益は、コア事業の売上高が堅調な推移となったことから前年同期比増となったものの、経常利益は、外貨建て資産の評価による為替差損により前年同期比7.4%減の13億17百万円となった。親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比2.4%減の8億97百万円となった。

(単位：百万円)

	2025年3月期 2Q	2026年3月期 2Q	2027年3月期 2Q		2027年3月期 通期	
	実績 (売上比)	実績 (売上比)	実績 (売上比)	前年同期比 増減額 (増減率)	予想 (売上比)	2Q進捗率
売上高	30,822 (100.0%)	31,748 (100.0%)	33,024 (100.0%)	+1,275 (+4.0%)	65,200 (100.0%)	50.7%
営業利益	1,313 (4.3%)	1,256 (4.0%)	1,407 (4.3%)	+151 (+12.0%)	3,000 (4.6%)	46.9%
経常利益	1,474 (4.8%)	1,421 (4.5%)	1,317 (4.0%)	△104 (△7.4%)	3,200 (4.9%)	41.2%
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,029 (3.3%)	918 (2.9%)	897 (2.7%)	△21 (△2.4%)	2,150 (3.3%)	41.7%

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています

2027年3月期第2四半期 セグメント情報

- ✓コア事業における仮設機材の「販売」と「レンタル」の連携をさらに進めたことにより、建設機材関連セグメント及びレンタル関連セグメントでは増収増益。
- ✓住宅機器関連セグメント及び電子機器関連セグメントは減収減益となった。

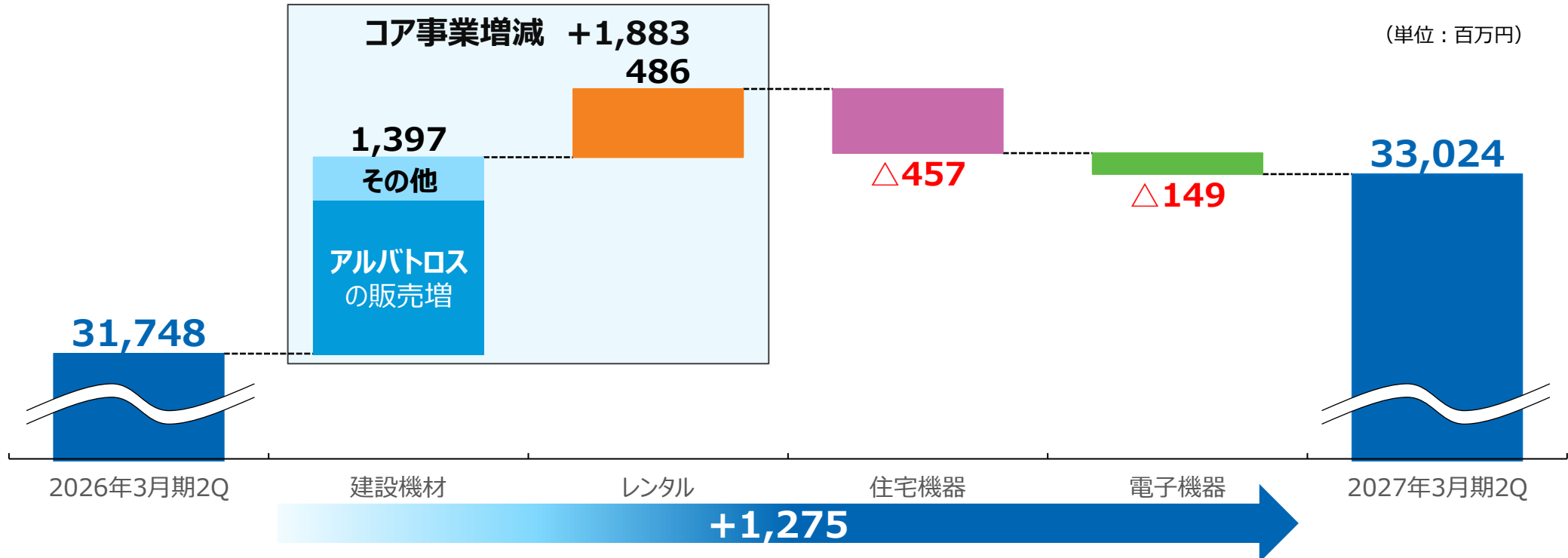
(単位：百万円)

上段：売上高 下段：セグメント利益	2025年3月期 2Q	2026年3月期 2Q
	実績	実績
建設機材関連	12,495 1,328	12,955 1,009
レンタル関連	9,025 759	8,827 577
住宅機器関連	6,896 △256	7,265 △79
電子機器関連	2,404 △325	2,700 △239
調整	— △31	— 153
全社合計	30,822 1,474	31,748 1,421

2027年3月期 2Q		2027年3月期 通期	
実績	前年同期比 増減率	予想	2Q進捗率
14,352 1,569	+10.8% +55.5%	25,140 2,390	57.1% 65.6%
9,313 696	+5.5% +20.5%	18,760 1,160	49.6% 60.0%
6,807 △415	△6.3% —	15,390 △270	44.2% —
2,550 △358	△5.6% —	5,910 △280	43.1% —
— △174	— —	— 200	— —
33,024 1,317	+4.0% △7.4%	65,200 3,200	50.7% 41.2%

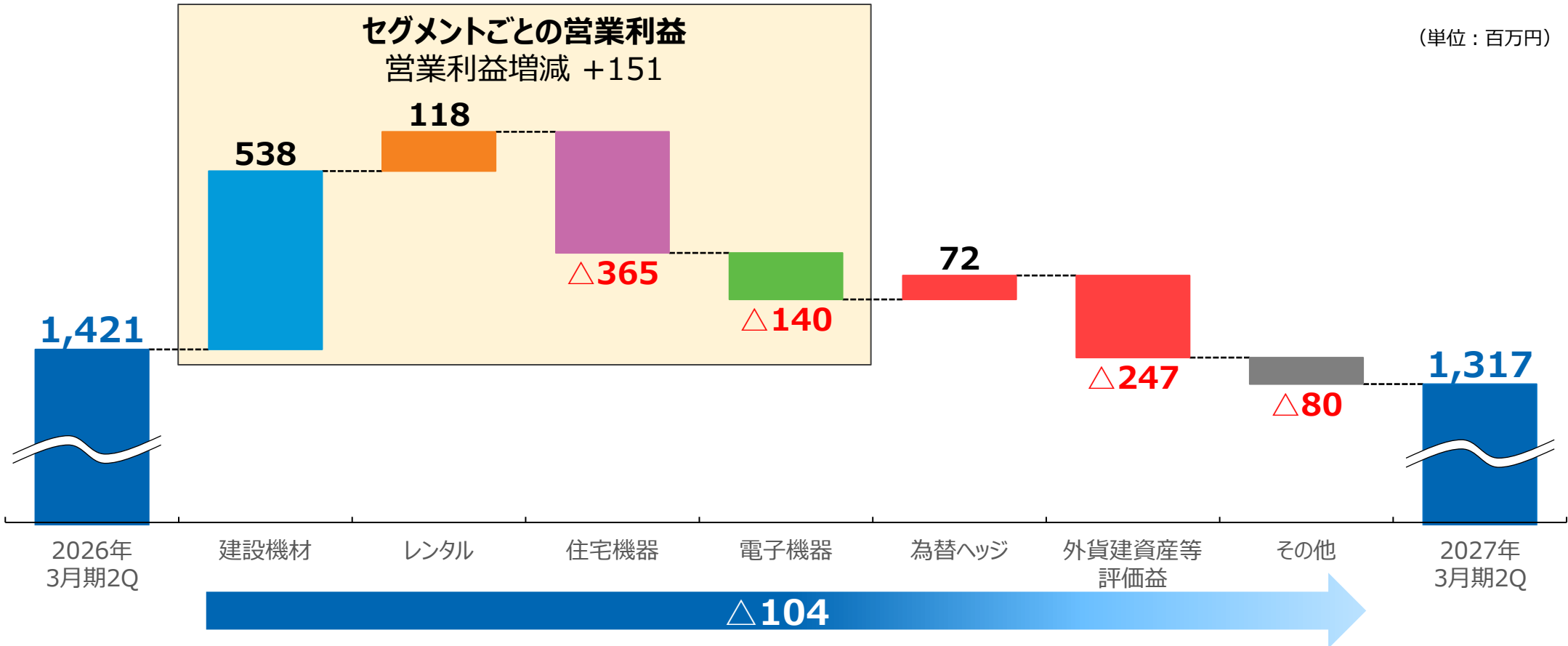
2027年3月期第2四半期 セグメント別売上高増減

- ✓建設機材セグメントでは、新型足場「アルバトロス」のユーザーの裾野が拡大したことによる販売増に牽引され、売上高が増加した。
- ✓レンタルセグメントでは、中東情勢の影響による工事の着工や進捗の遅延がある中、全部門が好調に推移し、特にイベント向けレンタルは、コンサートなどの開催時期が猛暑を避けて前倒しになったことや、悪天候による影響も生じなかったことから、前期に比べ売上高が伸長した。
- ✓住宅機器セグメントでは、前期同様に玄米保冷庫や子会社(株)シップの高所作業台の販売が堅調に推移したものの、物価上昇による消費マインドの鈍化によりフィットネス関連製品の販売が減少し、売上高は減少した。フィットネス関連製品は、従来の家庭用分野から業務用への販路拡大に向けた取り組みを強化している。
- ✓電子機器セグメントでは、従来から拡販に取り組んできた業務用無線機の販売増に加え、デジタル消防無線の更新需要から無線通信機器の販売が増加した一方、子会社におけるプリント配線板事業について、受注価格の改定を進めた影響により、売上高は減少した。



2027年3月期第2四半期 経常利益増減

- ✓ 建設機材セグメントでは、新型足場「アルバトロス」の販売増に牽引された売上高の増加により利益が増加した。
- ✓ レンタルセグメントでは、仮設機材レンタル会社の“購買からレンタルへ”の動向に対応すべく積極的なレンタル資産への投資を継続していることから減価償却費が増加したものの、売上高増加に加えレンタル単価の改定(値上げ)に取り組んだことが寄与し利益は増加した。
- ✓ 住宅機器セグメントと電子機器セグメントでは、売上高が減少したことにより利益が減少した。
- ✓ 経常利益は、外貨建て資産の評価による為替差損により前年同期比1億4百万円減となった。



(単位：百万円)

	2026年3月期	2027年3月期 2Q	
	実績 (構成比)	実績 (構成比)	前期比 増減額 (増減率)
流動資産	42,966 (58.6%)	46,085 (60.1%)	+3,119 (+7.3%)
固定資産	30,316 (41.4%)	30,554 (39.9%)	+237 (+0.8%)
資産合計	73,282 (100.0%)	76,639 (100.0%)	+3,356 (+4.6%)
流動負債	22,194 (30.3%)	23,412 (30.5%)	+1,217 (+5.5%)
固定負債	17,530 (23.9%)	19,635 (25.6%)	+2,105 (+12.0%)
負債合計	39,724 (54.2%)	43,048 (56.2%)	+3,323 (+8.4%)
純資産	33,557 (45.8%)	33,591 (43.8%)	+33 (+0.1%)
負債・純資産合計	73,282 (100.0%)	76,639 (100.0%)	+3,356 (+4.6%)
自己資本比率	45.8%	43.8%	△2.0ポイント
D/Eレシオ	0.81倍	0.92倍	－

主な増減要因(百万円)	
流動資産	
受取手形及び売掛金	+1,754
電子記録債権	+664
固定資産	
レンタル資産投入	+1,047
レンタル資産減価償却費	△577
純資産	
親会社に帰属する中間純利益	+897
配当金の支払	△439
自己株式の取得	△601

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています

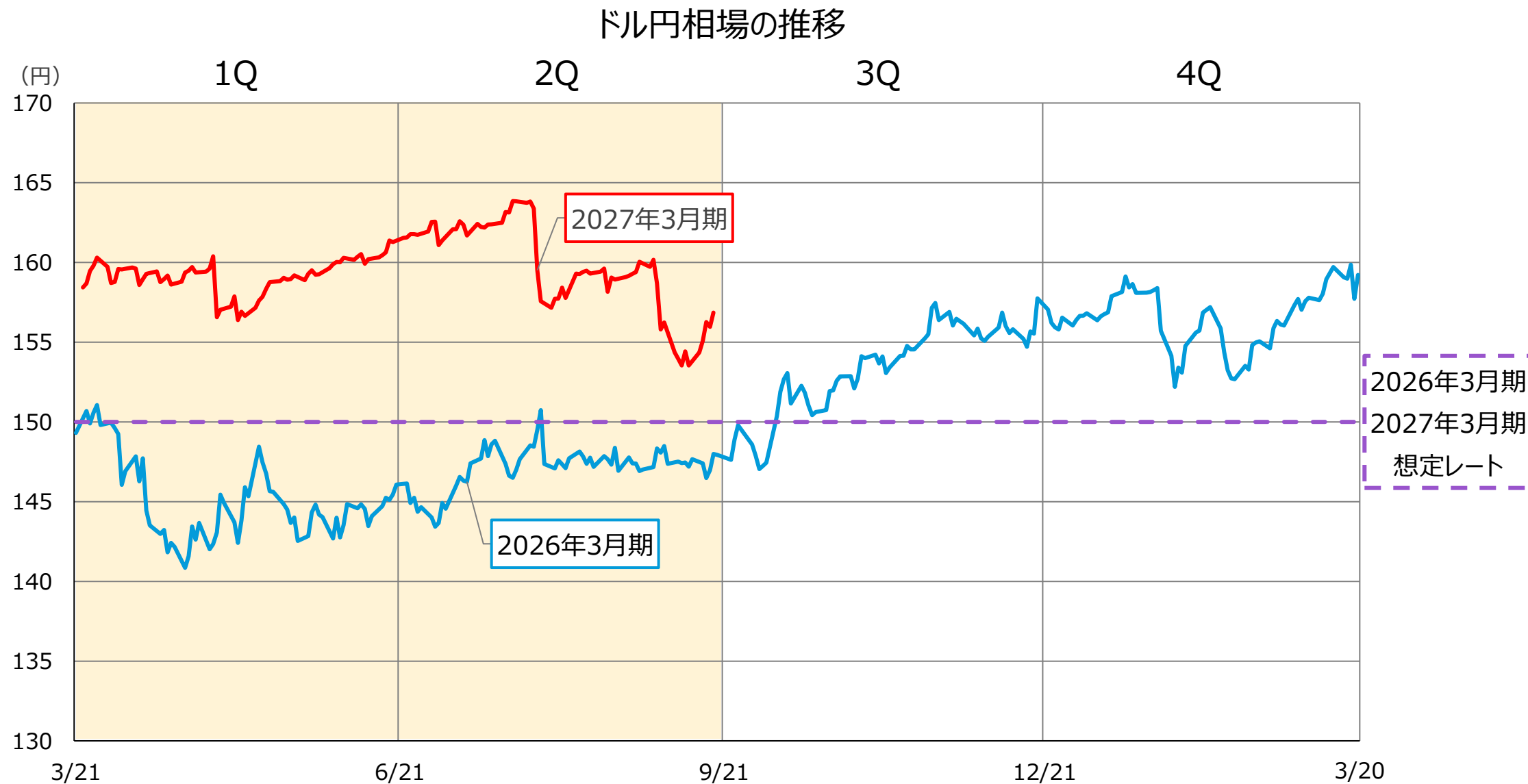
当社は、2026年5月1日付取締役会において下記の通り自己株式の取得を決議しました。

●2026年5月1日付取締役会における自己株式の取得に関する決議内容

- | | |
|--------------|---|
| • 取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| • 取得し得る株式の総数 | 1,100,000株（上限）
（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合：5.5%） |
| • 株式の取得価額の総額 | 1,000,000,000円（上限） |
| • 取得期間 | 2026年5月7日から2027年4月27日まで |
| • 取得方法 | 東京証券取引所における市場買付 |

➤取得した自己株式の累計（2026年9月30日現在）

- | | |
|-------------|--------------------------------------|
| ・ 取得した株式の総数 | 586,400株
(上限株式数に対する割合 : 53.3%) |
| ・ 取得価額の総額 | 629,865,600円
(上限金額に対する割合 : 63.0%) |



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予測等は現時点で入手された情報に基づくものであり、市況、競業状況等、多くの不確実な要因による影響を受けます。

従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。

本資料利用の結果生じた、いかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

【お問い合わせ先】

アルインコ株式会社 経理本部 IR室

大阪府中央区高麗橋4-4-9 淀屋橋ダイビル

E-mail : alinco-ir@alinco.co.jp